



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和7年8月号

〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

「経験によって」

校長

暑中お見舞い申し上げます。子どもたちの様子から「いちのくら体育参観」での経験が継続しているのだろうな、と感じる場面が多くあります。前向きな呼びかけ、それに応える雰囲気、切り替えの早さ、授業への集中などと様々です。仲間と気持ちを合わせて動く事のよい経験や最後までやり遂げたという自信がその姿につながっているのでしょう。

このように学校生活の中では、成功体験によって達成感や満足感、連帯感などを得ることができる「させたい」経験が多くあります。

同時に先号でお伝えしたような事件、事故、災害など、子供たちに「させたくない」経験もあり、それらを可能な限り排除、回避し、平穏な毎日を送ることができるよう未然防止に力を入れています。

しかし、大小様々なトラブルは絶えず発生するので負の経験をすべて避けることはできません。「友達とケンカをした」「負けて悔しかった」「問題が解けなかった」「壊してしまった」「忘れ物をしてしまった」…。でも、その苦悩や困難、失敗などを乗り越えていくことで得られる貴重な経験もあり、それがその子をさらに一回り大きく成長させることが多くあります。

大切なことは、そのトラブル発生時に我々がどう待ち構えているかだと思います。失敗、挫折の時に「でもきっと大丈夫。なんとかなる」「誰かが助けてくれる」というような安心できる背景、支えがあるかどうかです。失敗してしまったけれど、そのおかげで「自分を見つめなおすことができた」「人の気持ちを考えられるようになった」と成長につなげられるよう、こちらもある程度のトラブルを想定し、指導し、そして受容していきたいと思います。

実は今回この「経験」について書かせていただくと考えたのは、私事ですが、先日愛猫が亡くなったことにあります。初めての経験でしたので自分にどんなダメージが襲うのかは予想ができませんでしたが、「ペットロス」という言葉をなめていました。しかしながら私はこの経験により、少なくともこのような状況の人への声のかけ方は、それまでとは大きく違ってくると思っていますし、その悲しみに寄り添える感覚を得たのではないかと。

そんな経験による心の変化について子供たちにどう伝えていこうかと考えていた時、ある方と話す中で「今の子供たちには失敗を回避させすぎているのではないか」との話題になり、今回の内容に至りました。

成功と失敗、正と負、どちらの経験も大切。しかしそうわかっている親心からするとできる限り悲しい思いや、つらい思いはさせたくないなあと手を出してしまいます。難しいですね。

私にはもう1匹猫がいるんですよね…。🐱

追伸

全国各地で教職員による学校内での盗撮やわいせつ行為等の重大な事件が続いており、その報道によって教育および教職員への信頼が著しく損なわれていると感じております。

今一度、私たち市之倉小学校職員は、自分自身の姿勢を問い返し、教育の使命を自覚した上で、子供たち、保護者の皆様、地域の方々から信頼が得られるよう、安全・安心な学校づくりに努めてまいります。改めてよろしくお願いいたします。